

新型コロナウイルス感染症に関する 村からのお願い

緊急事態宣言が発出されました。

北海道内の急速な感染拡大を受けて、5月31日までを期間として「緊急事態宣言」が発出されました。また、医療提供体制が危機的な状況であることから、北海道知事等の連名による「北海道医療非常事態宣言」が発出されています（裏面をご覧ください）。

北海道においては、医療崩壊を防ぐ最大の対策を「人と人との接触を徹底的に抑える」こととし、道民の皆様は次のとおり、一段と強い協力の要請を行っておりますので、ご理解とご協力をお願いします（感染状況等により内容が変更となる場合がありますので、ご注意願います。）。

- ① 不要不急の外出を控えてください。特に午後8時以降の外出、混雑している場所や時間帯の外出、週末の外出を控えてください。
- ② 不要不急の都道府県間の移動、特に緊急事態措置区域との往来は厳に控えてください。
- ③ 感染症対策が徹底されていない飲食店等、営業時間短縮に応じていない飲食店等の利用を控えてください。
- ④ 「黙食」を実践してください（食事は少人数、短時間で、深酒や大声を出さず、マスクを着用する。）。
- ⑤ 公園等における集団での飲食など、感染リスクが高い行動を控えてください。

* 日常生活においては、これまでお知らせしてきた感染症対策を継続いただくことで、感染のリスクを減らすことができます。

北海道医療非常事態宣言

道内では、変異株の影響もあり、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が5月13日には過去最多の712人となるなど、全道各地において感染が急速に拡大しています。

このままでは、地域の基幹病院等において、その機能を維持することが厳しい状況となり、特に、医療資源の乏しい地域では、入院の予定を延期せざるを得なくなるほか、怪我の治療や救命救急など、今まで当たり前を受けていた医療も受けられなくなりつつあります。

まさに、北海道の医療が危機的な状況にあります。

医療体制の崩壊を防ぎ、道民の皆様の命を守るため、全道に医療非常事態を宣言します。

道民の皆様におかれては、医療を守り、そして、あなたの大切な人やあなた自身を守るために、次のことを遵守してください。

これまでお願いしてきたマスクの着用や手洗い、手指消毒、人との距離の確保はもちろん、今は、特に、次のことを実行してください。

- **できる限り、外出はしない**
- **特に、週末は外出しない**
- **外出しても、午後8時まで**

令和3年（2021年）5月15日

北海道知事	鈴木直道
北海道市長会会長	山口幸太郎
北海道町村会会長	棚野孝夫
北海道医師会会長	長瀬清